

思い出の場所
横川で
夢をかたちに



能代 紘平 隊員

のしろ こうへい

任期

令和3年9月1日～

令和6年8月31日

主な活動拠点 鉄道文化むら

高崎市出身。趣味は鉄道模型を自作すること、鉄道に乗る・撮ること。大好きな家系ラーメンはスープから作ります。

地域おこし協力隊隊員として、普段どんな活動をしていますか？

碓氷峠鉄道文化むらで、接客を行いながらイベントの企画などを行っています。鉄道の知識と、前職で自動車内装部品の設計をしていた経験をいかし、さまざまな企画を練っています。

今は、碓氷峠鉄道文化むら園内に、鉄道模型を運転できる施設を新しくリニューアルオープンするため、ジオラマを製作しています。

協力隊の活動の中で、何が印象に残っていますか？

昨年、アーク溶接などの資格を取得して、機関車に取り付けるヘッドマークを製作したことです。

自分で鉄板を切って溶接するなど大変でしたが、いろいろな人から「新聞やネットのニュースを見

ました」と言われ、とてもうれしかったです。

これから(任期終了後に)やってみたいことは？

8月で地域おこし協力隊の任期が終了します。終了後は、自分の特技である3D-CADを使ってオリジナルの鉄道模型を製作し、横川に鉄道模型のお店を開業したいと思っています。

安中市の印象は？

安中市には磯部温泉や秋間梅林、碓氷峠鉄道遺産群など多くの観光地があります。

地域の企業様と関わりを深める中で、鉄道文化むらだけでなく市内に点在する観光地をつなげて、市全体を活性化させるような取組ができないか、考えるようになりました。

ました。

市民の皆さんにメッセージをお願いします

令和3年9月にに着任して、あっという間に2年半が経ちました。市民の皆さんから「広報見えます」と声をかけてもらう機会も増え、活動の励みになっています。

家族で行った思い出の地、横川でこれからも夢を形にしながら、地域づくりをしていきたいです。残りの任期も精一杯活動していきますので、よろしくお願いします。

